

壁紙施工要領書 11
- 金銀手貼箔・フオイル -

【該当品番】(2018-2022 Lilycolor Materials)

LMT- 15215～15238

■ 下地調整

- ・商品自体の厚みが薄く表面もフラットですので、下地面はできるだけ平滑に仕上げてください。特にパテかけ、サンダーがけは入念に行ってください。また、釘やビス頭部では、不陸の段差が増長され余計見えやすくなりますので、特に念入りに下地調整してください。
- ・モルタル、漆喰下地ではアクの影響があるため、全面シーラー等でアク止めを完全に行ってください。
- ・打ち釘は、変色・腐蝕防止のためステンレスかプラスチックの釘を使用してください。

■ 直張り施工

- ・モルタル、漆喰下地への直張りはなるべく行わないようにしてください。
 - ・鉄板などの吸水性のない下地へは、S タック等の両面テープを使用した乾式工法も有効です。
 - ・接着剤は、原液タイプをお勧めします。また、接着剤塗布後は、うませ時間を5～10分程度とって作業を進めてください。
 - ・なで付けの際は、柔らかい刷毛を使用し丁寧に均一に行ってください。
- ※LMT-15219・15220 は、もみの伸ばし方が均一になるように、また梁や柱面は、張りくるむように張ってください。

■ 袋張り施工

- ・美しい仕上げには袋張り施工がおすすめです。
(直張りですと表面のシワが伸びてしまい、壁紙の表情が変わってしまうことがあります。
また、防火の認定が取れない場合がありますのでご注意ください。)
- ・下張りは、喰い裂き手法で行ってください。

【壁紙施工要領書 11 - 金銀手貼箔・フオイル -】

- ・糊付けは手付けにて行ないます。接着剤の配合については、
中糊 ⇒ でん粉糊 10 に対し水を 7 前後で
回り糊⇒ でん粉糊 10 に対し水を 5 前後で
行ないます。うませ時間は 5～10 分程度、刷毛は柔らかめのものを使用してください。
- ※LMT-15219・1522 は、もみの伸ばし方が均一になるように、また梁や柱面は、張りくるむように張ってください。
- ※袋張り施工では防火認定が取れない場合がありますのでご注意ください。

■その他

- ・箔の大きさは均一ではありませんので、柄合わせができません。あらかじめご了承ください。
- ・接着剤塗布後はタタミジワを防ぐためにも、大きくたたみ上積みは避けてください。
- ・カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態で使用してください。
- ・表面に施工糊や汗などの汚れが付着したままだと、錆の発生や変色のおそれがあります。付着した場合はすぐに水を含んだタオル等で拭き取り、残った水分をよくしぼったタオル等でたたいて取るようにしてください。
- ・ジョイントは目地処理を施すか、重ね張りで納めるようにしてください。
- ・重ね裁ち（ダブルカット）の場合はカットテープ等を使用し、表面に糊などの汚れをつけないようにしてください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えるようにしてください。